
2022年3月期 第2四半期連結決算の概要

[2021年度]

2021年10月27日

株式会社日立製作所
執行役専務 CFO

河村 芳彦

Contents

1. 今回のポイント
2. 2021年度 第2四半期累計 実績
3. 2021年度 第2四半期 実績
4. 2021年度 見通し
5. 参考資料

1. 今回のポイント

1

注力事業(環境・デジタル)の受注・売上収益が堅調に推移

- 環境関連を中心に日立エナジー⁽¹⁾の受注が好調
(2Q売上収益：2,536億円、YoY 109%)
(2Q受注高：2.5bn米ドル、受注残高：約12bn米ドル)
- 買収したGlobalLogicが高い成長を実現
(2Q売上収益：YoY 152%、EBITDA *1率：23.4%)
- DX需要を受け、ITセグメントがFY21 1Hで過去最高益を達成
- Lumada事業が堅調に推移(1H売上収益：YoY 138%)
- 直近では、日立エナジーがサウジアラビア・エジプト間初の大規模HVDCシステムを受注
鉄道システム事業がスペインのILSA社と高速鉄道車両のメンテナンス契約を
約980億円で締結

2

事業リスクの顕在化による業績影響が発生

- 半導体不足の影響が自動車関連事業を中心に発生
- 複数のセグメントにおいて、部材価格の高騰によりコストが増加
- COVID-19によるアジア地域でのロックダウンにより、一部事業で部品供給不足が発生

3

厳しい事業環境の中、当期利益の通期見通しは維持

- 主要5セクター*2は業績が堅調に推移
- 低収益事業の見直しやコスト構造改革の成果により、ボトムラインが安定化

(1)日立ABBパワーグリッドは、2021年10月13日付で「日立エナジー」に社名を変更しました
本資料の各ページ内に記載の無い注記は35ページに記載しています

GlobalLogic 実績・見通し

単位：億円	FY21 2Q 実績	FY21 2Q-4Q 見通し	概況
売上収益 YoY	344 152%	1,028 134%	<ul style="list-style-type: none"> FY21 2Qの売上収益は前年同期比152%、グローバルDX市場の成長を上回る
調整後営業利益* ³ 調整後営業利益率	76 22.0%	216 21.0%	<ul style="list-style-type: none"> FY21 2Qは、スタンド・アローンベースで調整後営業利益率22.0%、EBITDAマージン23.4%の高い収益性を維持
EBIT* ⁴ EBIT率	76 22.0%	216 21.0%	<ul style="list-style-type: none"> PMIは当初計画通り進行中
EBITDA EBITDA率	81 23.4%	233 22.6%	<ul style="list-style-type: none"> 買収に伴う無形資産等の償却費⁵は精査中

日立とのシナジー加速

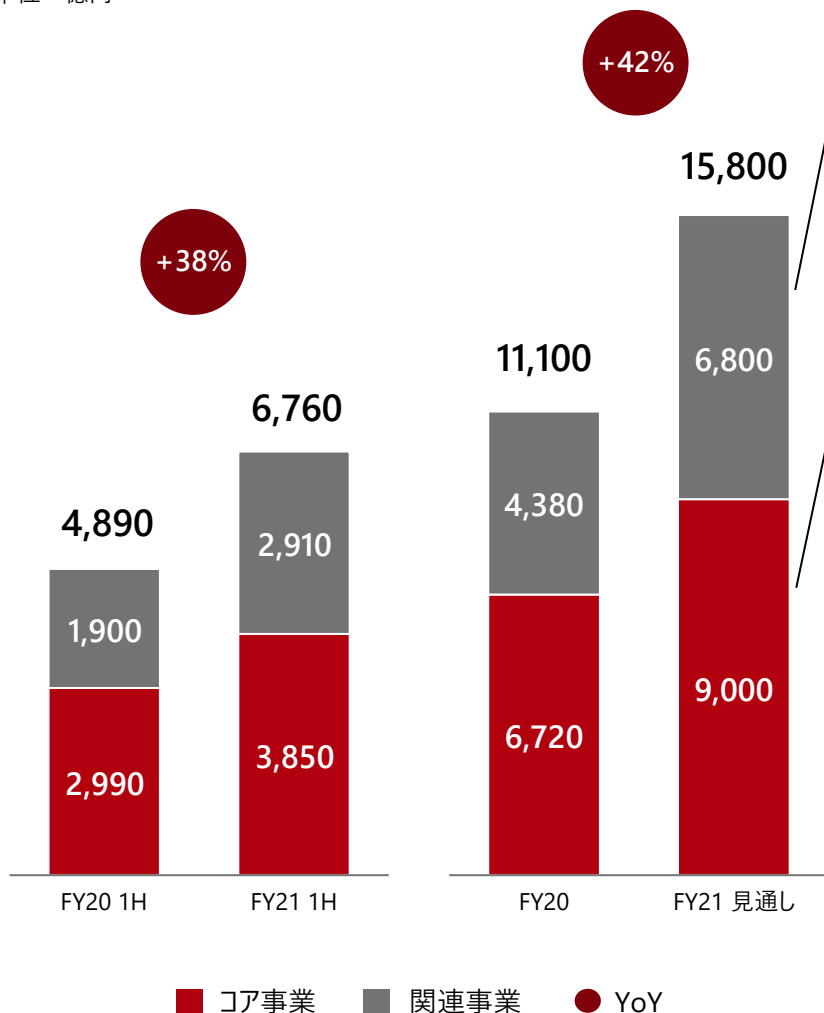
- Hitachi Vantaraとのクロスセルによる受注を獲得
 - GlobalLogicの顧客へ、Hitachi Vantaraのクラウド運用管理サービスを提供 (米国大手製造業)
 - Hitachi Vantaraの顧客へ、GlobalLogicのデザインエンジニアリングを提供 (米国金融機関)
- GlobalLogicと日立エナジーが、資産管理ソフトウェアの高度化・次世代エネルギープラットフォームの開発など、エネルギー分野のデジタルソリューション拡大に向けた協業を開始
- GlobalLogicのデザインスタジオやエンジニアリングセンターとLumada Innovation Hub Tokyoを接続、ストレージ事業の「as a Service」ビジネスモデル強化に向けた協創プロジェクトを開始

スタンド・アローンで順調に事業を推進中

- 高度なエクスペリエンスデザインとデジタルエンジニアリングにより、DX事業は順調に拡大
 - サイバーセキュリティの全製品ラインにデザイン・ソフトウェアエンジニアリングを提供 (米国セキュリティサービス)
 - ECサイト向けモバイルアプリケーションを刷新 (米国アパレルメーカー)

Lumada事業 売上収益

単位：億円



FY21 見通し概況

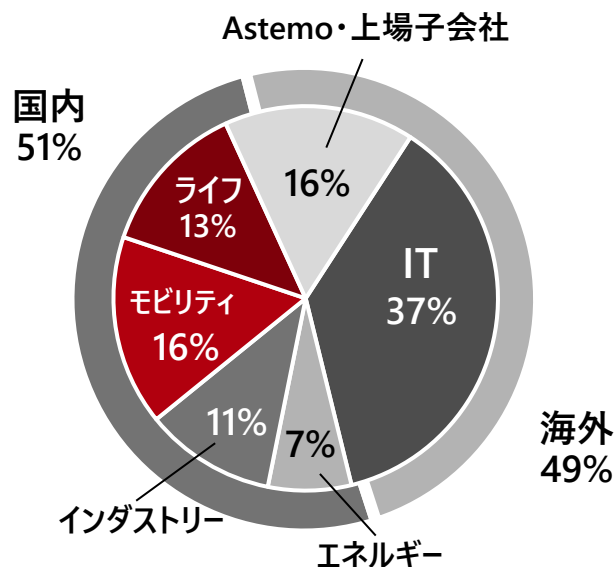
関連事業

- ・ パワーグリッド事業買収および日立ハイテクの統合影響
- ・ オーガニックにはインダストリアルプロダクツ事業、生活・エコシステム事業などが伸長

コア事業

- ・ GlobalLogic・パワーグリッド事業買収および日立ハイテクの統合影響
- ・ オーガニックにはITセグメント(AI・データアナリティクス、セキュリティ、IoT関連サービスなど)が成長を牽引し、産業・流通ソリューションも伸長

FY21 1H セグメント別 構成比



	半導体不足	部材(鉄、銅等) 価格高騰	パンデミックによる アジア地域ロックダウン	物流、その他
IT	ITプロダクト関連における 売上収益の減少	比較的軽微	インドのロックダウン長期化に よる需要回復遅れに伴う 売上収益減少	比較的軽微
エネルギー	比較的軽微	電磁鋼板等の価格高騰で パワーグリッド事業のコスト増加	パワーグリッド事業における インドを中心とした地域で 生産面に影響	パワーグリッド事業(大型設備) の物流コスト増加
インダストリー	一部製品(FA機器など)で 納期に影響	一部プロダクト事業 におけるコスト増加	比較的軽微	一部プロダクト事業における 海上輸送コンテナ不足 によるコスト増加
モビリティ	比較的軽微	ビルシステム事業 におけるコスト増加	鉄道システム事業における 一部プロジェクトの進捗遅延	比較的軽微
ライフ	比較的軽微	家電事業におけるコスト増加	家電事業において 一部部品調達遅延	アナリティカル・ソリューション事 業において部品供給不足 により生産面に影響
日立Astemo	自動車メーカーの減産により 売上収益が大きく減少	鋼板、銅等の価格高騰により 一部製品におけるコスト増加	インドにおける部品供給の減少	比較的軽微
上場子会社	日立金属：自動車メーカーの 減産により自動車関連事業 (鋳物等)の売上収益減少	日立建機：鋼材価格を 中心としたコスト増加	比較的軽微	比較的軽微

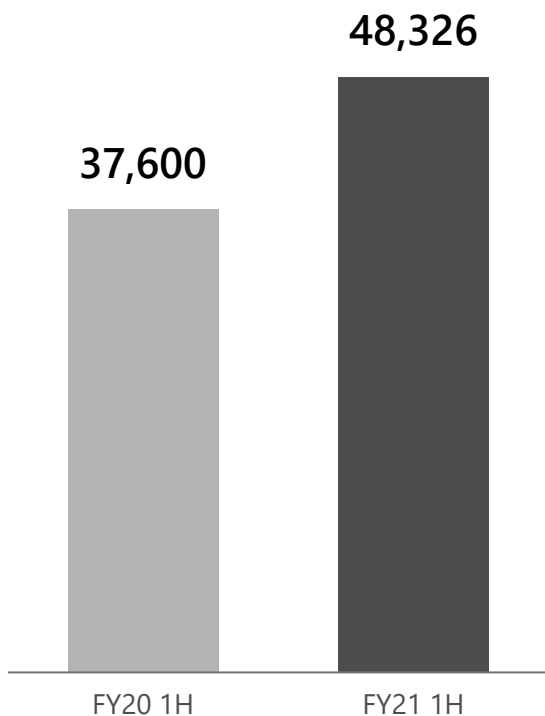


2. 2021年度 第2四半期累計 実績

売上収益

YoY 29%増収

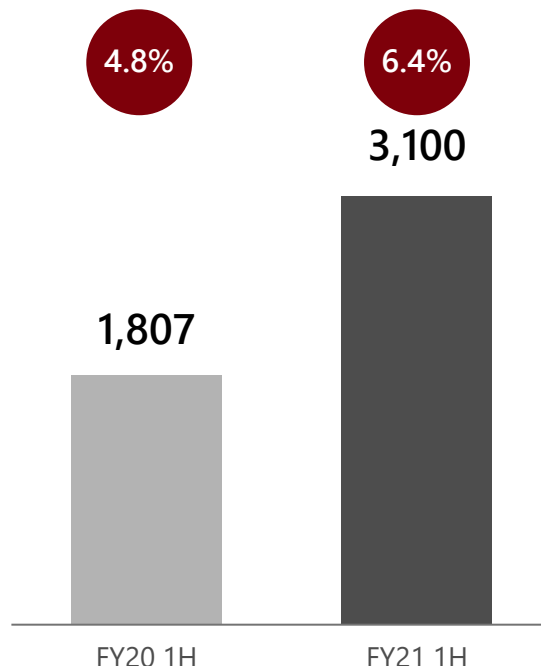
市況回復、パワーグリッド事業および
GlobalLogic買収・日立
Astemo統合影響により増収



調整後営業利益

YoY 利益率 +1.6ポイント

売上収益の増加に伴い増益



● 調整後営業利益率 単位：億円

海外売上収益

29,201億円 (YoY +52%)

Lumada事業売上収益

6,760億円 (YoY +38%)

EBIT

4,254億円 (YoY +392億円)

四半期利益 (親会社株主帰属)

3,224億円 (YoY +716億円)

EBITDA

6,892億円 (YoY +766億円)

営業キャッシュ・フロー

1,614億円 (YoY △530億円)

中間配当

60円/株 (YoY +10円)

5セクター・Astemo・上場子会社別 実績 (FY21 1H)

- 5セクター：市況回復、パワーグリッド事業・GlobalLogic買収影響により増収増益
- Astemo：日立Astemo統合影響により増収増益
- 上場子会社：市況回復により日立建機・日立金属ともに増収増益

単位：億円	5セクター [IT、エネルギー、インダストリー、 モビリティ、ライフ*6]	Astemo [オートモティブシステム*6,7]	上場子会社 [日立建機、日立金属]	連結 合計
売上収益	31,466	7,559	9,300	48,326
YoY	115%	234%	133%	129%
調整後営業利益	2,348	223	528	3,100
YoY	+333	+410	+547	+1,292
調整後営業利益率	7.5%	3.0%	5.7%	6.4%
YoY	+0.1ポイント	+8.8ポイント	+6.0ポイント	+1.6ポイント
EBIT	3,448	211	593	4,254
YoY	△1,015	+485	+921	+392
EBIT率	11.0%	2.8%	6.4%	8.8%
YoY	△5.3ポイント	+11.3ポイント	+11.1ポイント	△1.5ポイント
四半期利益(親会社株主帰属)	2,966	35	222	3,224
YoY	+47	+269	+400	+716

セグメント別実績 (FY21 1H) (1/3)

単位：億円	FY21 1H			YoY			概況
	売上 収益	調整後 営業利益 ⁽¹⁾	EBIT ⁽¹⁾	売上 収益	調整後 営業利益	EBIT	
IT	9,766	1,123 11.5%	1,067 10.9%	103%	+43 +0.1ポイント	+89 +0.6ポイント	<ul style="list-style-type: none"> セグメント全体ではDX需要の取り込みによるLumada事業の伸長、コスト・コントロールの徹底により増収増益。上期として過去最高益を達成 フロントビジネスは、インドを中心としたロックダウン、交通分野の投資抑制の影響等があるも、Lumada事業が堅調に推移 サービス＆プラットフォームは、半導体供給不足の影響が一部発生するも、GlobalLogicが順調に成長
フロント ビジネス ^{*8}	6,549	788 12.0%	785 12.0%	100%	+67 +1.0ポイント	+120 +1.8ポイント	
サービス＆ プラットフォーム ^{*9}	3,937	312 7.9%	255 6.5%	106%	+35 +0.5ポイント	+5 △0.2ポイント	
エネルギー	6,750	△8 △0.1%	138 2.0%	169%	+62 +1.7ポイント	+243 +4.6ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 原子力BUの作業高減少や、エネルギーBUの風力発電システム事業の戦略変更により減収も、固定費削減等により増益 日立エナジーは、買収影響により増収。部材高騰による減益影響があったものの、売上収益増加により増益
原子力 ^{*10}	497	-	-	78%	-	-	
エネルギー ^{*10,11}	831	-	-	92%	-	-	
原子力・エネ ルギー合計 ^{*10,11}	-	72 5.2%	103 7.5%	-	+15 +1.3ポイント	+40 +3.2ポイント	
日立エナジー	5,183	272 5.2%	300 5.8%	222%	+125 △1.1ポイント	+158 △0.3ポイント	
関連費用 ⁽²⁾	-	△358	△373	-	△97	△73	

(1) パーセンテージは調整後営業利益率またはEBIT率を表しています

(2) 関連費用には、パワーグリッド事業買収に伴う無形資産等の償却費の他、PMIに係る関連費用等が含まれています

セグメント別実績 (FY21 1H) (2/3)

単位：億円	FY21 1H			YoY			概況
	売上 収益	調整後 営業利益	EBIT	売上 収益	調整後 営業利益	EBIT	
インダストリー	3,930	255	257	108%	+115	+100	
		6.5%	6.6%		+2.6ポイント	+2.3ポイント	
産業・流通 ^{*10}	1,532	111	100	110%	+58	+43	<ul style="list-style-type: none"> 産業・流通BUは、市況回復およびJRオートメーションの売上増加により増収増益
		7.3%	6.5%		+3.5ポイント	+2.4ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 水・環境BUは、空調システム事業等が堅調に推移したことに加え、固定費削減により増収増益
水・環境 ^{*10}	706	36	41	115%	+26	+46	<ul style="list-style-type: none"> インダストリアルプロダクツ事業は、市況回復に伴う売上増加により増収増益
		5.1%	5.8%		+3.4ポイント	+6.6ポイント	
インダストリアル プロダクツ	1,810	111	119	107%	+43	+18	
		6.1%	6.6%		+2.1ポイント	+0.7ポイント	
モビリティ	7,094	449	676	132%	+51	+263	
		6.3%	9.5%		△1.1ポイント	+1.8ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ビルシステムBUは、部材価格高騰の影響があったものの、中国事業拡大や為替影響等により増収増益
ビルシステム	4,334	412	414	133%	+32	+23	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道システムBUは、市況回復および為替影響により増収増益。EBITは、アジリティ・トレインズ・イースト社一部株式の売却により増益
		9.5%	9.6%		△2.2ポイント	△2.4ポイント	
鉄道 ^{*10}	2,879	67	292	129%	+29	+250	
		2.3%	10.1%		+0.6ポイント	+8.2ポイント	
ライフ⁽¹⁾	5,110	362	916	84%	△98	+460	<ul style="list-style-type: none"> セグメント全体では、画像診断関連事業の売却により減収
		7.1%	17.9%		△0.5ポイント	+10.4ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 生活・エコシステム事業は、Lumada事業が拡大したものの、海外家電事業の売却影響により減収、調整後営業利益が減少したものの、海外家電事業の売却益によりEBITは増益
生活・エコシステム (日立GLS ⁽²⁾)	2,045	128	683	90%	△49	+493	<ul style="list-style-type: none"> 計測分析システム事業は、アナリティカル・ソリューション事業で増収があったものの、インダストリアル・ソリューション事業の一部事業撤退影響により減収。また、ナノテクノロジー・ソリューション事業の製品構成差と戦略的投資増加により減益
		6.3%	33.4%		△1.5ポイント	+25.0ポイント	
計測分析システム (日立ハイテク)	2,834	267	271	93%	△60	△61	
		9.4%	9.6%		△1.3ポイント	△1.3ポイント	

(1) ライフセグメントの実績には、ヘルスケア事業他の売上収益・調整後営業利益・EBITおよび2020年度には画像診断関連事業売却益が含まれています

(2) 日立GLS：日立グローバルライフソリューションズ

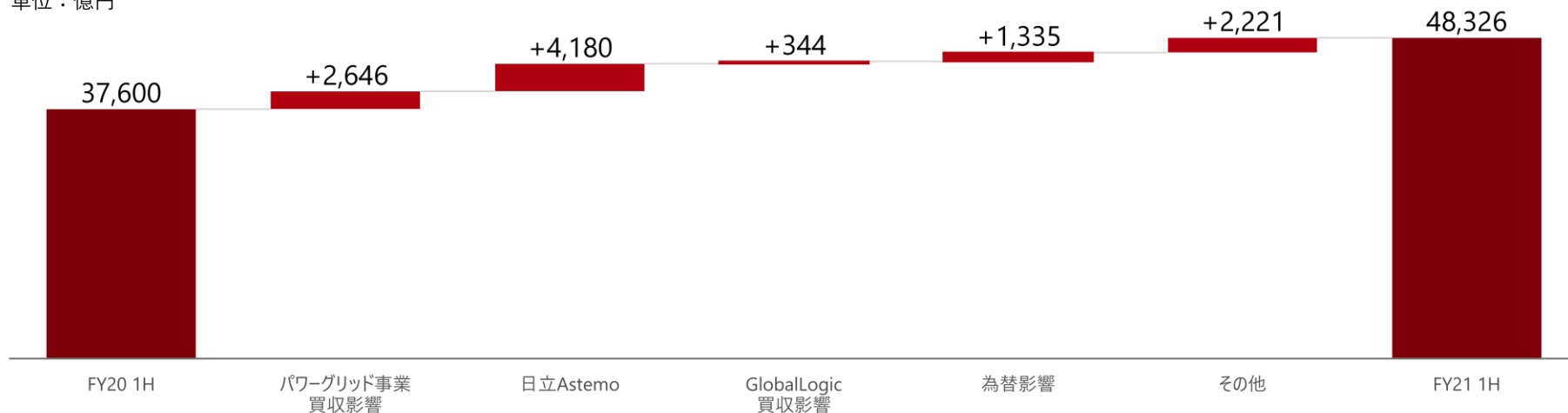
セグメント別実績 (FY21 1H) (3/3)

単位：億円	FY21 1H			YoY			概況
	売上 収益	調整後 営業利益	EBIT	売上 収益	調整後 営業利益	EBIT	
日立Astemo	7,559	223 3.0%	211 2.8%	234%	+410 +8.8ポイント	+485 +11.3ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 半導体不足の影響による自動車メーカーの減産、部材価格の高騰、ロックダウン影響による部品供給減少などの影響があったものの、統合影響により増収増益
日立建機	4,736	375 7.9%	433 9.2%	131%	+271 +5.0ポイント	+374 +7.5ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 鋼材価格を中心としたコスト増加影響があったものの、市況回復と米州での価格調整により増収増益
日立金属	4,563	152 3.3%	159 3.5%	134%	+276 +6.9ポイント	+547 +14.9ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 自動車向け需要増加など市況回復および事業構造改革効果により増収増益
その他	2,174	118 5.5%	197 9.1%	104%	+43 +1.9ポイント	+92 +4.1ポイント	
全社及び消去	△3,360	45	193	-	+115	△2,265	
合計	48,326	3,100 6.4%	4,254 8.8%	129%	+1,292 +1.6ポイント	+392 △1.5ポイント	

売上収益・調整後営業利益 増減内訳 (FY21 1H 連結合計)

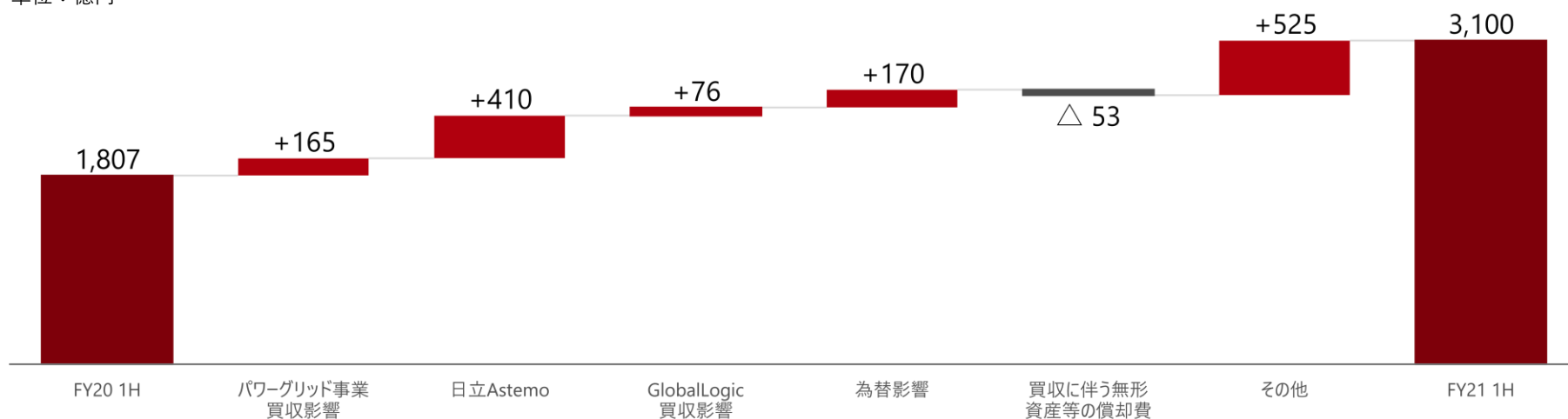
売上収益

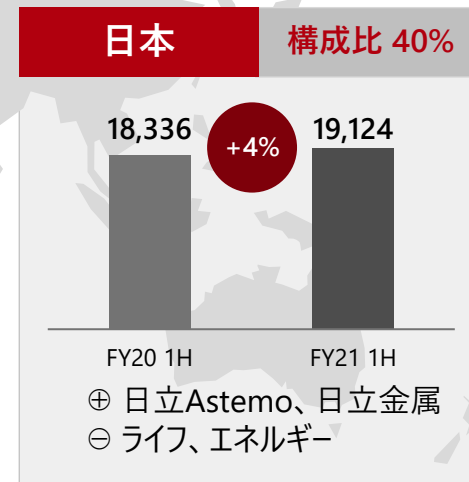
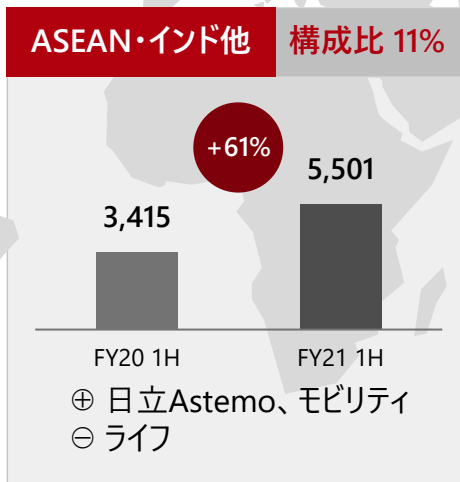
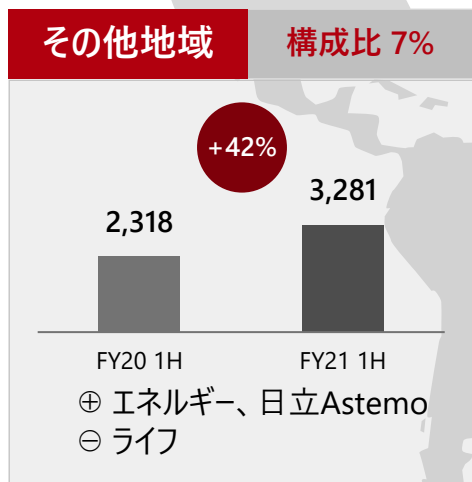
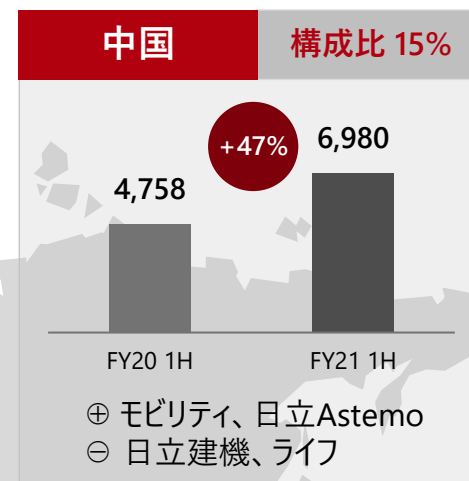
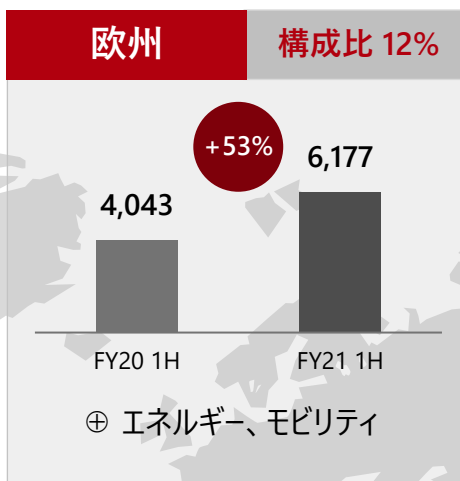
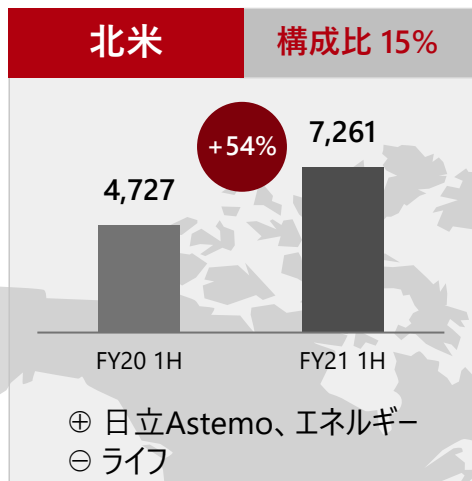
単位：億円



調整後営業利益

単位：億円





海外売上収益 **29,201** 億円

構成比 **60%**


単位：億円

財政状態

単位：億円	2020年度末	2021年度 第2四半期末	比較増減
資産合計	118,528	128,795	+10,266
現金及び現金同等物	10,158	8,809	△1,349
売上債権及び契約資産	27,344	25,621	△1,723
負債合計	73,946	81,292	+7,346
有利子負債	23,973	33,136	+9,162
親会社株主持分	35,255	38,248	+2,993
非支配持分	9,327	9,253	△73
運転資金手持日数 (CCC ⁽¹⁾)	81.0日	74.1日	△6.9日
親会社株主持分比率	29.7%	29.7%	±0.0ポイント
D/Eレシオ	0.54倍	0.70倍	+0.16ポイント

キャッシュ・フロー

単位：億円	2020年度 2Q累計	2021年度 2Q累計	前年同期比
営業キャッシュ・フロー	2,144	1,614	△530
投資キャッシュ・フロー	△7,038	△9,514	△2,475
フリー・キャッシュ・フロー	△4,893	△7,899	△3,005
コア・フリー・キャッシュ・フロー ^{*12}	506	△436	△942



3. 2021年度 第2四半期 実績

5セクター・Astemo・上場子会社別 実績 (FY21 2Q)

- 5セクター：市況回復、パワーグリッド事業・GlobalLogic買収影響により増収増益
- Astemo：日立Astemo統合影響により増収増益
- 上場子会社：市況回復により日立建機・日立金属ともに増収増益

単位：億円	5セクター [IT、エネルギー、インダストリー、 モビリティ、ライフ]	Astemo [オートモティブシステム]	上場子会社 [日立建機、日立金属]	連結 合計
売上収益	16,168	3,733	4,750	24,652
YoY	103%	174%	126%	114%
調整後営業利益	1,366	102	327	1,795
YoY	+197	+73	+300	+571
調整後営業利益率	8.5%	2.7%	6.9%	7.3%
YoY	+1.1ポイント	+1.4ポイント	+6.2ポイント	+1.6ポイント
EBIT	2,060	83	423	2,567
YoY	+1,323	+78	+708	+2,110
EBIT率	12.7%	2.2%	8.9%	10.4%
YoY	+8.0ポイント	+1.9ポイント	+16.5ポイント	+8.3ポイント
四半期利益(親会社株主帰属)	1,823	7	170	2,002
YoY	+1,402	△6	+330	+1,727

実績ハイライト (FY21 2Q)

単位：億円	FY21 2Q		YoY		概況
	売上 収益	調整後 営業利益 ⁽¹⁾	売上 収益	調整後 営業利益	
IT	5,337	687 12.9%	103%	△10 △0.6ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 売上収益は、インドを中心としたロックダウン、交通分野等の顧客投資抑制、半導体供給不足による影響等があるも、Lumada事業やGlobalLogicが堅調に推移 調整後営業利益も、GlobalLogicの買収に伴う無形資産等の償却費や統合に向けた一時的費用など関連費用を除くと増益
日立エナジー	2,536	107 4.2%	109%	△40 △2.1ポイント	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19影響の縮小により増収となったものの、部材価格の高騰、アジア地域のロックダウン、物流混乱の影響により減益 受注は堅調に推移
ビルシステム	2,192	182 8.3%	130%	△5 △2.8ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 中国での事業拡大により増収も、部材価格高騰影響や、日本におけるCOVID-19に伴う前年度受注減の影響等により減益
鉄道	1,423	64 4.5%	111%	+33 +2.1ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 市況回復および為替影響により増収増益
日立ハイテク	1,391	125 9.0%	93%	+3 +0.8ポイント	<ul style="list-style-type: none"> インダストリアル・ソリューション事業における事業撤退により減収 アナリティカル・ソリューション事業は堅調に推移し増収増益 ナノテクノロジー・ソリューション事業は堅調に推移しているものの、製品構成差と戦略的投資増加により減益
日立Astemo	3,733	102 2.7%	174%	+73 +1.4ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 半導体不足の影響による自動車メーカーの減産、部材価格の高騰、ロックダウン影響による部品供給減少など、厳しい事業環境が継続したものの、統合影響により増収増益

(1) パーセンテージは調整後営業利益率を表しています

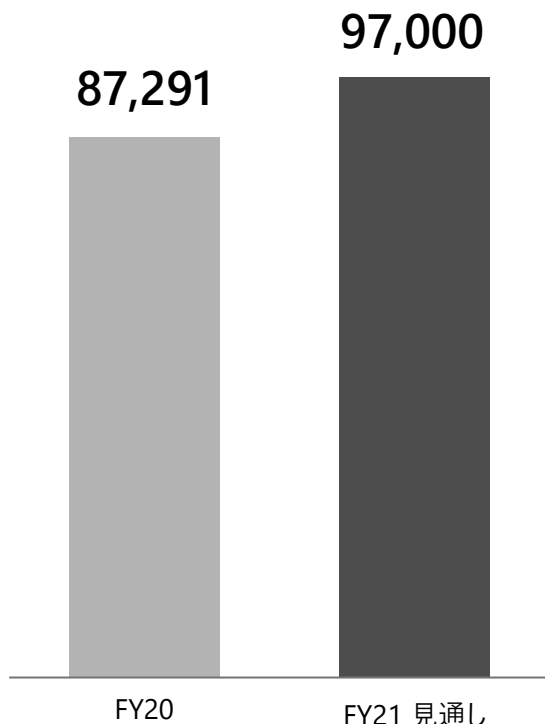
4. 2021年度 見通し

売上収益

YoY 11%増収

前回見通し⁽¹⁾比 +2%

市況回復、パワーグリッド事業および
GlobalLogic買収・日立Astemo統合影響
により前期比増収

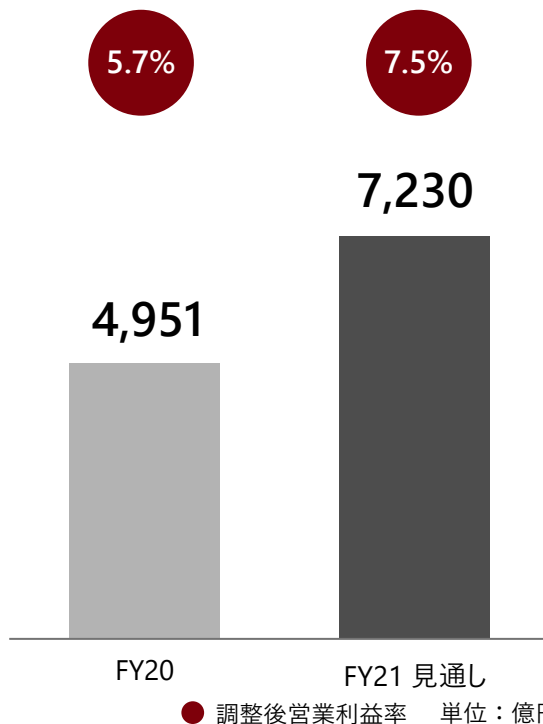


調整後営業利益

YoY +2,278億円

前回見通し比 △170億円

売上収益の増加に伴い前期比増益



EBIT

8,200億円

(YoY △302億円)(前回見通し比 ±0億円)

当期利益 (親会社株主帰属)

5,500億円

(YoY +483億円)(前回見通し比 ±0億円)

EBITDA

13,520億円

(YoY +89億円)(前回見通し比 △180億円)

営業キャッシュ・フロー

7,500億円

(YoY △431億円)(前回見通し比 ±0億円)

コア・フリー・キャッシュ・フロー

3,000億円

(YoY △1,198億円)(前回見通し比 ±0億円)

ROIC^{*13}

8.1% (YoY +1.7ポイント)

(前回見通し比 △0.2ポイント)

前提為替レート (FY21 2H)

105円/ドル 125円/ユーロ

為替感応度⁽²⁾ (FY21 2H)

ドル 売上+105 営業利益+15

ユーロ 売上+40 営業利益+5

(1) 前回見通しは2021年7月30日公表値

(2) 前提為替レートから1円円安となった場合の業績影響額(単位：億円)

5セクター・Astemo・上場子会社別 見通し (FY21)

- 5セクター：市況回復、パワーグリッド事業・GlobalLogic買収影響により増収増益
- Astemo：市況回復、日立Astemo統合影響により増収増益
- 上場子会社：市況回復により日立建機・日立金属ともに増収増益

	5セクター [IT、エネルギー、インダストリー、 モビリティ、ライフ]	Astemo [オートモティブシステム]	上場子会社 [日立建機、日立金属]	連結 合計
単位：億円				
売上収益	63,200	15,400	18,400	97,000
YoY	102%	156%	117%	111%
調整後営業利益	5,480	680	1,070	7,230
YoY	+1,141	+332	+803	+2,278
調整後営業利益率	8.7%	4.4%	5.8%	7.5%
YoY	+1.7ポイント	+0.9ポイント	+4.1ポイント	+1.8ポイント
EBIT	6,600	600	1,000	8,200
YoY	△2,074	+556	+1,214	△302
EBIT率	10.4%	3.9%	5.4%	8.5%
YoY	△3.7ポイント	+3.5ポイント	+6.8ポイント	△1.2ポイント
当期利益(親会社株主帰属)	5,040	150	310	5,500
YoY	△448	+446	+485	+483

セグメント別 見通し (FY21) (1/3)

単位：億円	FY21 見通し			YoY			概況
	売上 収益	調整後 営業利益 ⁽³⁾	EBIT ⁽³⁾	売上 収益	調整後 営業利益	EBIT	
IT⁽¹⁾	22,000	2,630	2,460	107%	△64	+11	<ul style="list-style-type: none"> セグメント全体では前回見通しから変更なし DX需要の取り込みによるLumadaのさらなる成長、GlobalLogic買収により増収を見込む。収益性向上に向けた継続的なコストコントロールにより、買収に伴う無形資産等の償却費や一時費用除きでは前期比増益の見通し
フロント ビジネス	14,400	1,800	1,780	102%	+33	+102	
サービス& プラットフォーム	8,900	920	780	113%	+185	+187	
エネルギー	13,200	300	370	119%	+777	+925	<ul style="list-style-type: none"> セグメント全体では前回見通しから変更なし 原子力・エネルギー合計は、原子力BUの作業高減少により前期比減収も、エネルギーBUにおける一部案件の対策強化の終了等により前期比増益の見通し パワーグリッド事業は、買収影響により前期比増収。収益性向上に加え、買収に伴う無形資産等の償却費の減少により前期比増益の見通し
原子力	1,566	-	-	92%	-	-	
エネルギー	1,884	-	-	100%	-	-	
原子力・エネル ギー合計	-	317	305	-	+379	+382	
日立エナジー	10,083	667	703	140%	+345	+338	
関連費用 ⁽²⁾	-	△717	△744	-	△18	+58	

(1) GlobalLogic(スタンド・アローンベース)について、売上収益1,028億円・調整後営業利益216億円を織り込み、スタンド・アローンベースは買収にかかる無形資産等の償却費を含みません。GlobalLogicの買収が2021年7月14日に完了し、9カ月分を取り込んだ想定。GlobalLogicの買収に伴う無形資産等の償却費はITセグメント合計に含まれています

(2) 関連費用には、パワーグリッド事業買収に伴う無形資産等の償却費の他、PMIに係る関連費用等が含まれています

(3) パーセンテージは調整後営業利益率またはEBIT率を表しています

セグメント別 見通し (FY21) (2/3)

単位：億円	FY21 見通し			YoY			概況
	売上 収益	調整後 営業利益	EBIT	売上 収益	調整後 営業利益	EBIT	
インダストリー	8,500	690	590	102%	+234	+166	<ul style="list-style-type: none"> セグメント全体では前回見通しから変更なし 産業・流通BUは、市況回復およびJRオートメーションの売上増加により前期比増収増益の見通し 水・環境BUは、空調システム事業等が堅調に推移することに加え、固定費削減により前期比増収増益の見通し インダストリアルプロダクツ事業は、市況回復に伴う売上収益増加により前期比増収増益の見通し
産業・流通	3,150	275	235	103%	+117	+117	
水・環境	1,760	158	163	102%	+53	+74	
インダストリアル プロダクツ	3,900	300	290	104%	+56	+15	
モビリティ	13,200	1,020	1,240	110%	+272	△50	<ul style="list-style-type: none"> ビルシステムBUの上期業績を踏まえ、前回見通しから売上収益を上方修正 (+700億円)。調整後営業利益は、部材価格高騰影響や中国不動産業界の与信悪化懸念を踏まえ、前回見通しを据え置き ビルシステムBUは、中国事業拡大により前期比増収増益の見通し 鉄道システムBUは、市況回復により前期比増収増益の見通し
ビルシステム	7,700	735	735	113%	+85	△1	
鉄道	5,750	342	552	105%	+177	△70	
ライフ⁽¹⁾	10,000	970	1,500	80%	+176	△521	<ul style="list-style-type: none"> セグメント全体では前回見通しから変更なし 画像診断関連事業売却による前期比減収影響あり 生活・エコシステム事業は、海外家電事業の売却による減収減益影響があるものの、EBITは前期比増益の見通し 計測分析システム事業は、アナリティカル・ソリューション事業およびナノテクノロジー・ソリューション事業の需要拡大により前期比増益の見通し
生活・エコシステム (日立GLS ⁽²⁾)	4,000	302	877	88%	△33	+478	
計測分析システム (日立ハイテク)	6,000	684	684	99%	+137	+133	

(1) ライフセグメントの実績には、ヘルスケア事業他の売上収益・調整後営業利益・EBITおよび2020年度には画像診断関連事業売却益が含まれています

(2) 日立GLS：日立グローバルライフソリューションズ

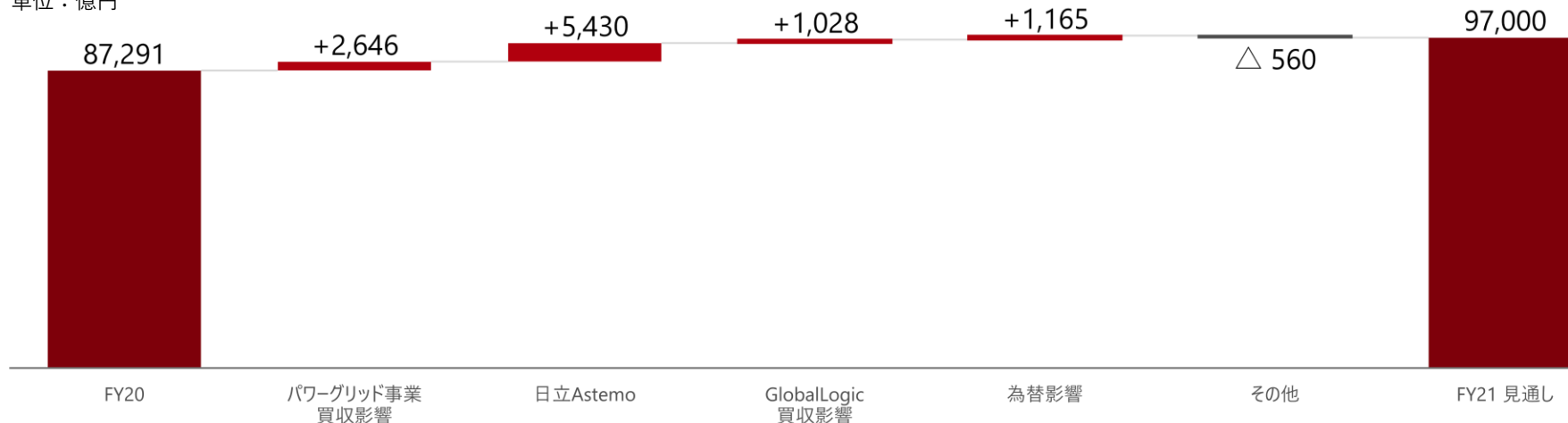
セグメント別 見通し (FY21) (3/3)

単位：億円	FY21 見通し			YoY			概況
	売上 収益	調整後 営業利益	EBIT	売上 収益	調整後 営業利益	EBIT	
日立Astemo	15,400	680 4.4%	600 3.9%	156%	+332 +0.9ポイント	+556 +3.5ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 半導体不足の影響による自動車メーカーの減産、部材価格の高騰、ロックダウン影響による部品供給減少などの影響により、前回見通しから下方修正 (売上収益 △600億円、調整後営業利益 △290億円) 厳しい事業環境が継続するも、市況回復および統合影響により前期比増収増益の見通し
日立建機	9,200	730 7.9%	815 8.9%	113%	+413 +4.0ポイント	+538 +5.5ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 前回見通しから上方修正 (売上収益 +400億円、調整後営業利益 +120億円) 鋼材価格を中心としたコスト増加影響があるものの、中国を除く主要地域の市況回復および米州での価格調整により前期比増収増益の見通し
日立金属	9,200	340 3.7%	185 2.0%	121%	+389 +4.4ポイント	+676 +8.5ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 前回見通しから上方修正 (売上収益 +700億円) 市況回復および事業構造改革効果により前期比増収増益の見通し EBITは、事業構造改革関連費用の減少により増益の見通し
その他	4,500	160 3.6%	130 2.9%	100%	△52 △1.1ポイント	△123 △2.7ポイント	
全社及び消去	△8,200	△290	310	-	△200	△2,482	
合計	97,000	7,230 7.5%	8,200 8.5%	111%	+2,278 +1.8ポイント	△302 △1.2ポイント	

売上収益・調整後営業利益 増減内訳 (FY21 連結合計)

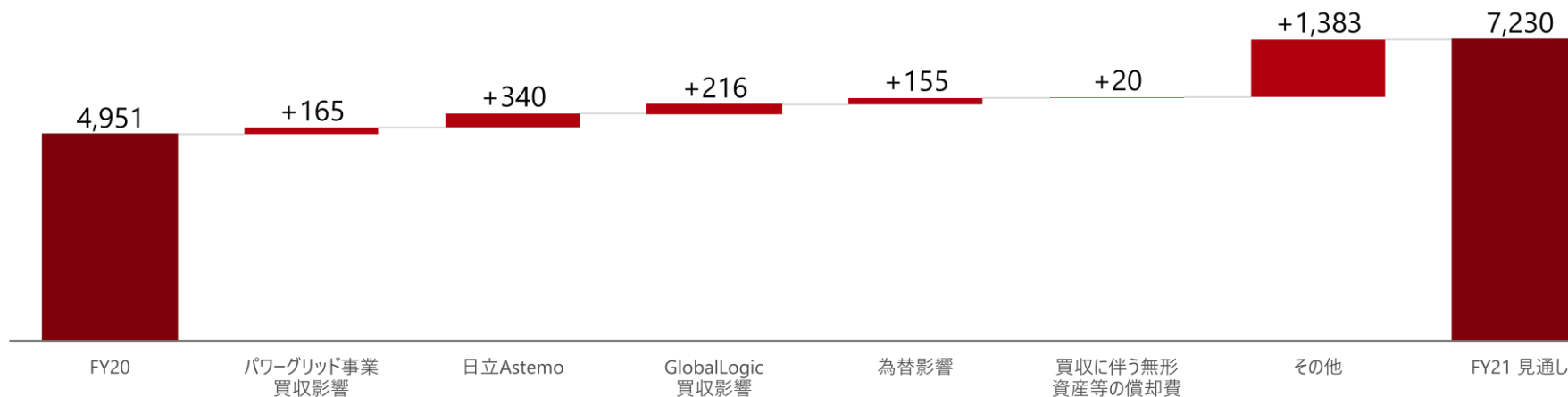
売上収益

単位：億円



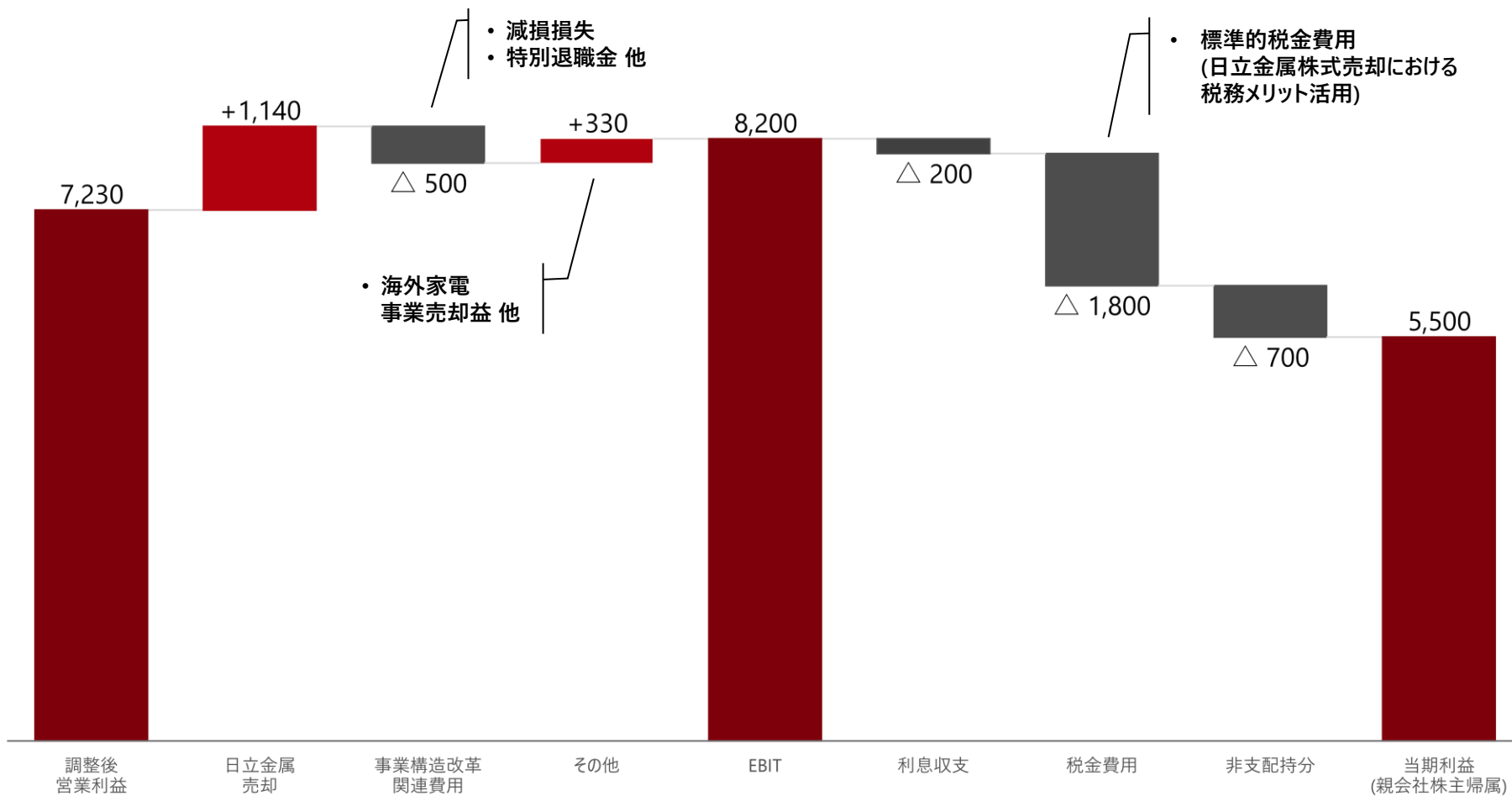
調整後営業利益

単位：億円



親会社株主に帰属する当期利益 内訳 (FY21 連結合計)

単位：億円



5. 参考資料

単位：億円	FY2020			FY2021						
	2Q	1H	通期	2Q	YoY	1H	YoY	通期 (見通し)	YoY	前回 見通し比
売上収益	5,173	9,474	20,487	5,337	103%	9,766	103%	22,000	107%	100%
フロントビジネス	3,627	6,539	14,142	3,527	97%	6,549	100%	14,400	102%	100%
サービス& プラットフォーム	1,992	3,720	7,903	2,206	111%	3,937	106%	8,900	113%	100%
調整後営業利益 ⁽¹⁾	698	1,080	2,694	687	△10	1,123	+43	2,630	△64	±0
	13.5%	11.4%	13.2%	12.9%	△0.6ポイント	11.5%	+0.1ポイント	12.0%	△1.2ポイント	±0.0ポイント
フロントビジネス	477	721	1,767	481	+4	788	+67	1,800	+33	±0
	13.1%	11.0%	12.5%	13.6%	+0.5ポイント	12.0%	+1.0ポイント	12.5%	±0.0ポイント	±0.0ポイント
サービス& プラットフォーム	177	277	735	202	+25	312	+35	920	+185	±0
	8.9%	7.4%	9.3%	9.1%	+0.2ポイント	7.9%	+0.5ポイント	10.3%	+1.0ポイント	±0.0ポイント
EBIT ⁽¹⁾	597	978	2,448	626	+28	1,067	+89	2,460	+11	±0
	11.6%	10.3%	12.0%	11.7%	+0.1ポイント	10.9%	+0.6ポイント	11.2%	△0.8ポイント	±0.0ポイント
フロントビジネス	408	665	1,678	473	+66	785	+120	1,780	+102	±0
	11.2%	10.2%	11.9%	13.4%	+2.2ポイント	12.0%	+1.8ポイント	12.4%	+0.5ポイント	±0.0ポイント
サービス& プラットフォーム	162	250	593	141	△21	255	+5	780	+187	±0
	8.1%	6.7%	7.5%	6.4%	△1.7ポイント	6.5%	△0.2ポイント	8.8%	+1.3ポイント	±0.0ポイント
EBITDA	830	1,486	3,525	913	+82	1,608	+121	3,610	+84	△170

(1) パーセンテージは調整後営業利益率またはEBIT率を表しています

単位：億円	FY2020			FY2021						
	2Q	1H	通期	2Q	YoY	1H	YoY	通期 (見通し)	YoY	前回 見通し比
売上収益	3,244	3,988	11,079	3,389	104%	6,750	169%	13,200	119%	100%
原子力	406	637	1,693	293	72%	497	78%	1,566	92%	100%
エネルギー	460	900	1,876	450	98%	831	92%	1,884	100%	100%
日立エナジー	2,336	2,336	7,224	2,536	109%	5,183	222%	10,083	140%	102%
調整後営業利益	△91	△70	△477	16	+108	△8	+62	300	+777	±0
	△2.8%	△1.8%	△4.3%	0.5%	+3.3ポイント	△0.1%	+1.7ポイント	2.3%	+6.6ポイント	±0.0ポイント
原子力・	24	57	△62	36	+12	72	+15	317	+379	±0
エネルギー合計	2.8%	3.9%	△1.8%	4.6%	+1.8ポイント	5.2%	+1.3ポイント	9.7%	+11.5ポイント	±0.0ポイント
日立エナジー	147	147	322	107	△40	272	+125	667	+345	±0
	6.3%	6.3%	4.5%	4.2%	△2.1ポイント	5.2%	△1.1ポイント	6.6%	+2.1ポイント	△0.1ポイント
関連費用 ⁽¹⁾	△259	△261	△699	△126	+134	△358	△97	△717	△18	+11
EBIT	△136	△105	△555	153	+289	138	+243	370	+925	±0
	△4.2%	△2.6%	△5.0%	4.5%	+8.7ポイント	2.0%	+4.6ポイント	2.8%	+7.8ポイント	±0.0ポイント
原子力・	12	63	△77	55	+43	103	+40	305	+382	±0
エネルギー合計	1.5%	4.3%	△2.2%	7.1%	+5.6ポイント	7.5%	+3.2ポイント	9.3%	+11.5ポイント	±0.0ポイント
日立エナジー	142	142	365	130	△12	300	+158	703	+338	+10
	6.1%	6.1%	5.1%	5.1%	△1.0ポイント	5.8%	△0.3ポイント	7.0%	+1.9ポイント	±0.0ポイント
関連費用 ⁽¹⁾	△289	△299	△802	△134	+154	△373	△73	△744	+58	+8
EBITDA	185	229	311	382	+196	613	+384	1,240	+928	+10

(1) 関連費用には、パワーグリッド事業買収に伴う無形資産等の償却費の他、PMIに係る関連費用等が含まれています

単位：億円	FY2020			FY2021						
	2Q	1H	通期	2Q	YoY	1H	YoY	通期 (見通し)	YoY	前回 見通し比
売上収益	1,966	3,625	8,301	2,060	105%	3,930	108%	8,500	102%	100%
産業・流通	791	1,389	3,053	836	106%	1,532	110%	3,150	103%	100%
水・環境	336	615	1,733	372	111%	706	115%	1,760	102%	100%
インダストリアル プロダクツ	893	1,696	3,764	923	103%	1,810	107%	3,900	104%	100%
調整後営業利益	121	139	455	158	+37	255	+115	690	+234	±0
	6.2%	3.9%	5.5%	7.7%	+1.5ポイント	6.5%	+2.6ポイント	8.1%	+2.6ポイント	±0.0ポイント
産業・流通	70	53	158	82	+11	111	+58	275	+117	±0
	8.9%	3.8%	5.2%	9.8%	+0.9ポイント	7.3%	+3.5ポイント	8.7%	+3.5ポイント	±0.0ポイント
水・環境	13	10	105	29	+16	36	+26	158	+53	±0
	3.9%	1.7%	6.1%	7.7%	+3.8ポイント	5.1%	+3.4ポイント	9.0%	+2.9ポイント	±0.0ポイント
インダストリアル プロダクツ	39	68	244	51	+12	111	+43	300	+56	±0
	4.3%	4.0%	6.5%	5.5%	+1.2ポイント	6.1%	+2.1ポイント	7.7%	+1.2ポイント	±0.0ポイント
EBIT	112	157	423	153	+41	257	+100	590	+166	±0
	5.7%	4.3%	5.1%	7.5%	+1.8ポイント	6.6%	+2.3ポイント	6.9%	+1.8ポイント	±0.0ポイント
産業・流通	77	58	118	70	△7	100	+43	235	+117	±0
	9.7%	4.1%	3.9%	8.3%	△1.4ポイント	6.5%	+2.4ポイント	7.5%	+3.6ポイント	±0.0ポイント
水・環境	△2	△5	89	31	+33	41	+46	163	+74	±0
	△0.5%	△0.8%	5.2%	8.3%	+8.8ポイント	5.8%	+6.6ポイント	9.3%	+4.1ポイント	±0.0ポイント
インダストリアル プロダクツ	42	101	275	56	+14	119	+18	290	+15	±0
	4.7%	5.9%	7.3%	6.0%	+1.3ポイント	6.6%	+0.7ポイント	7.4%	+0.1ポイント	±0.0ポイント
EBITDA	168	278	669	208	+39	365	+86	790	+120	±0

単位：億円	FY2020			FY2021						
	2Q	1H	通期	2Q	YoY	1H	YoY	通期 (見通し)	YoY	前回 見通し比
売上収益	2,904	5,387	11,996	3,547	122%	7,094	132%	13,200	110%	106%
ビルシステム	1,681	3,258	6,791	2,192	130%	4,334	133%	7,700	113%	110%
鉄道	1,278	2,228	5,477	1,423	111%	2,879	129%	5,750	105%	100%
調整後営業利益	206	398	747	230	+23	449	+51	1,020	+272	±0
	7.1%	7.4%	6.2%	6.5%	△0.6ポイント	6.3%	△1.1ポイント	7.7%	+1.5ポイント	△0.5ポイント
ビルシステム	187	380	650	182	△5	412	+32	735	+85	±0
	11.1%	11.7%	9.6%	8.3%	△2.8ポイント	9.5%	△2.2ポイント	9.5%	△0.1ポイント	△1.0ポイント
鉄道	31	38	165	64	+33	67	+29	342	+177	±0
	2.4%	1.7%	3.0%	4.5%	+2.1ポイント	2.3%	+0.6ポイント	6.0%	+3.0ポイント	±0.0ポイント
EBIT	213	413	1,290	242	+28	676	+263	1,240	△50	±0
	7.4%	7.7%	10.8%	6.8%	△0.6ポイント	9.5%	+1.8ポイント	9.4%	△1.4ポイント	△0.5ポイント
ビルシステム	188	392	736	182	△6	414	+23	735	△1	±0
	11.2%	12.0%	10.8%	8.3%	△2.9ポイント	9.6%	△2.4ポイント	9.5%	△1.3ポイント	△1.0ポイント
鉄道	37	42	622	76	+39	292	+250	552	△70	±0
	2.9%	1.9%	11.4%	5.3%	+2.4ポイント	10.1%	+8.2ポイント	9.6%	△1.8ポイント	±0.0ポイント
EBITDA	293	569	1,610	329	+36	849	+280	1,585	△25	±0

単位：億円	FY2020			FY2021						
	2Q	1H	通期	2Q	YoY	1H	YoY	通期 (見通し)	YoY	前回 見通し比
売上収益	3,131	6,074	12,527	2,444	78%	5,110	84%	10,000	80%	100%
生活・エコシステム (日立GLS)	1,221	2,262	4,563	943	77%	2,045	90%	4,000	88%	98%
計測分析システム (日立ハイテク)	1,492	3,056	6,063	1,391	93%	2,834	93%	6,000	99%	108%
調整後営業利益	226	461	794	160	△66	362	△98	970	+176	±0
	7.2%	7.6%	6.3%	6.6%	△0.6ポイント	7.1%	△0.5ポイント	9.7%	+3.4ポイント	±0.0ポイント
生活・エコシステム (日立GLS)	120	177	335	57	△63	128	△49	302	△33	△32
	9.8%	7.8%	7.3%	6.0%	△3.8ポイント	6.3%	△1.5ポイント	7.6%	+0.3ポイント	△0.6ポイント
計測分析システム (日立ハイテク)	122	327	547	125	+3	267	△60	684	+137	±0
	8.2%	10.7%	9.0%	9.0%	+0.8ポイント	9.4%	△1.3ポイント	11.4%	+2.4ポイント	△0.9ポイント
EBIT	194	456	2,021	653	+458	916	+460	1,500	△521	±0
	6.2%	7.5%	16.1%	26.7%	+20.5ポイント	17.9%	+10.4ポイント	15.0%	△1.1ポイント	±0.0ポイント
生活・エコシステム (日立GLS)	104	190	399	550	+446	683	+493	877	+478	±0
	8.6%	8.4%	8.7%	58.3%	+49.7ポイント	33.4%	+25.0ポイント	21.9%	+13.2ポイント	+0.5ポイント
計測分析システム (日立ハイテク)	121	332	551	127	+6	271	△61	684	+133	±0
	8.1%	10.9%	9.1%	9.1%	+1.0ポイント	9.6%	△1.3ポイント	11.4%	+2.3ポイント	△0.9ポイント
EBITDA	282	630	2,387	730	+448	1,078	+448	1,870	△517	±0

単位：億円	FY2020			FY2021						
	2Q	1H	通期	2Q	YoY	1H	YoY	通期 (見通し)	YoY	前回 見通し比
日立Astemo										
売上収益	2,140	3,234	9,875	3,733	174%	7,559	234%	15,400	156%	96%
調整後営業利益	28 1.3%	△187 △5.8%	347 3.5%	102 2.7%	+73 +1.4ポイント	223 3.0%	+410 +8.8ポイント	680 4.4%	+332 +0.9ポイント	△290 △1.7ポイント
EBIT	5 0.3%	△273 △8.5%	43 0.4%	83 2.2%	+78 +1.9ポイント	211 2.8%	+485 +11.3ポイント	600 3.9%	+556 +3.5ポイント	△160 △0.9ポイント
EBITDA	135	△20	650	310	+175	671	+691	1,550	+899	△190
日立建機										
売上収益	1,907	3,609	8,133	2,455	129%	4,736	131%	9,200	113%	105%
調整後営業利益	77 4.1%	104 2.9%	316 3.9%	259 10.6%	+182 +6.5ポイント	375 7.9%	+271 +5.0ポイント	730 7.9%	+413 +4.0ポイント	+120 +1.0ポイント
EBIT	35 1.9%	59 1.7%	276 3.4%	310 12.6%	+274 +10.7ポイント	433 9.2%	+374 +7.5ポイント	815 8.9%	+538 +5.5ポイント	+240 +2.4ポイント
EBITDA	166	311	789	451	+284	711	+400	1,395	+605	+250
日立金属										
売上収益	1,860	3,408	7,616	2,295	123%	4,563	134%	9,200	121%	108%
調整後営業利益	△50 △2.7%	△123 △3.6%	△49 △0.7%	67 2.9%	+118 +5.6ポイント	152 3.3%	+276 +6.9ポイント	340 3.7%	+389 +4.4ポイント	±0 △0.3ポイント
EBIT	△321 △17.3%	△387 △11.4%	△491 △6.5%	113 4.9%	+434 +22.2ポイント	159 3.5%	+547 +14.9ポイント	185 2.0%	+676 +8.5ポイント	±0 △0.2ポイント
EBITDA	△189	△123	12	228	+418	391	+514	645	+632	±0

その他・全社及び消去・合計

単位：億円	FY2020			FY2021						
	2Q	1H	通期	2Q	YoY	1H	YoY	通期 (見通し)	YoY	前回 見通し比
その他										
売上収益	1,100	2,086	4,490	1,110	101%	2,174	104%	4,500	100%	100%
調整後営業利益	59 5.4%	75 3.6%	212 4.7%	67 6.1%	+8 +0.7ポイント	118 5.5%	+43 +1.9ポイント	160 3.6%	△52 △1.1ポイント	±0 ±0.0ポイント
EBIT	60 5.5%	104 5.0%	253 5.6%	143 12.9%	+82 +7.4ポイント	197 9.1%	+92 +4.1ポイント	130 2.9%	△123 △2.7ポイント	±0 ±0.0ポイント
EBITDA	144	261	592	226	+82	365	+103	450	△142	±0
全社及び消去										
売上収益	△1,771	△3,287	△7,216	△1,721	-	△3,360	-	△8,200	-	-
調整後営業利益	△51	△69	△89	44	+96	45	+115	△290	△200	±0
EBIT	△306	2,459	2,792	87	+393	193	△2,265	310	△2,482	△80
合計										
売上収益	21,657	37,600	87,291	24,652	114%	48,326	129%	97,000	111%	102%
調整後営業利益	1,224 5.7%	1,807 4.8%	4,951 5.7%	1,795 7.3%	+571 +1.6ポイント	3,100 6.4%	+1,292 +1.6ポイント	7,230 7.5%	+2,278 +1.8ポイント	△170 △0.3ポイント
EBIT	457 2.1%	3,862 10.3%	8,502 9.7%	2,567 10.4%	+2,110 +8.3ポイント	4,254 8.8%	+392 △1.5ポイント	8,200 8.5%	△302 △1.2ポイント	±0 △0.1ポイント
EBITDA	1,734	6,126	13,430	3,892	+2,158	6,892	+766	13,520	+89	△180

- *1 EBITDAは、継続事業税引前利益から受取利息の額を減算し、支払利息及び減価償却費(有形および無形)を加算して算出した指標です。EBITDA(受取利息、支払利息及び減価償却費調整後税引前利益)は、Earnings before interest, taxes, depreciation and amortizationの略です
- *2 「5セクター」の合計は、「連結 合計」から「Astemo」と「上場子会社」の合計の数値を差し引いたもので、その他と全社及び消去の数値を含みます
- *3 調整後営業利益は、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費の額を減算して算出した指標です
- *4 EBITは、継続事業税引前利益から受取利息の額を減算し、支払利息の額を加算して算出した指標です。EBIT(受取利息及び支払利息調整後税引前利益)は、Earnings before interest and taxesの略です
- *5 買収に伴う無形資産等の償却費は、買収直後に被買収会社の資産・負債を時価評価し、のれんから無形資産等に振り替え、当該無形資産等を一定の耐用年数で償却した費用。支払済みの取得対価の内数であり、ノンキャッシュ費用
- *6 2021年度より、オートモティブシステム事業(日立Astemo)の数値はオートモティブシステム(日立Astemo)セグメントに計上されています。ライフセグメントおよびオートモティブシステム(日立Astemo)セグメントの対前年度比較は、この変更を2020年度に遡及した数値と比較しています
- *7 2020年度第2四半期累計の実績にはケー・ヒン、ショー・ワ、日信工業の業績は含まれていません
- *8 金融、公共、社会インフラ(電力、交通、通信等)向けシステムインテグレーション、ソフトウェア・ハードウェアの販売、保守・メンテナンス及び関連サービス、コンサルティング他
- *9 制御システム、ストレージ、サーバ、ならびに関連ソフトウェア・サービスの販売、保守・メンテナンス他
- *10 ITセグメントに計上されている制御システム事業を含んでいます
- *11 エネルギーBUの対前年度比較は、パワーグリッド事業に関する組織再編を2020年度に遡及した数値と比較しています
- *12 コア・フリー・キャッシュ・フローは、フリー・キャッシュ・フローから、M&Aや資産売却他にかかるキャッシュ・フローを除いた経常的なキャッシュ・フローです
- *13 ROIC(投下資本利益率)は、Return on invested capitalの略であり、「 $ROIC = (\text{税引後の調整後営業利益} + \text{持分法損益}) \div \text{投下資本} \times 100$ 」により算出しています。なお、税引後の調整後営業利益=調整後営業利益 \times (1 - 税金負担率)、投下資本=有利子負債 + 資本の部合計です

本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果は見通しと大きく異なることがあります。
その要因のうち、主なものは以下の通りです。

- ・COVID-19の流行による社会的・経済的影響の悪化
- ・主要市場における経済状況及び需要の急激な変動
- ・為替相場変動
- ・資金調達環境
- ・株式相場変動
- ・原材料・部品の不足及び価格の変動
- ・長期請負契約等における見積り、コストの変動及び契約の解除
- ・価格競争の激化
- ・人材の確保
- ・新技術を用いた製品の開発、タイムリーな市場投入、低コスト生産を実現する当社及び子会社の能力
- ・製品等の需給の変動
- ・製品等の需給、為替相場及び原材料価格の変動並びに原材料・部品の不足に対応する当社及び子会社の能力
- ・信用供与を行った取引先の財政状態
- ・社会イノベーション事業強化に係る戦略
- ・企業買収、事業の合併及び戦略的提携の実施並びにこれらに関連する費用の発生
- ・事業再構築のための施策の実施
- ・主要市場・事業拠点(特に日本、アジア、米国及び欧州)における政治・社会状況及び貿易規制等各種規制
- ・持分法適用会社への投資に係る損失
- ・コスト構造改革施策の実施
- ・地震・津波等の自然災害、気候変動、感染症の流行及びテロ・紛争等による政治的・社会的混乱
- ・当社、子会社又は持分法適用会社に対する訴訟その他の法的手続
- ・製品やサービスに関する欠陥・瑕疵等
- ・情報システムへの依存及び機密情報の管理
- ・自社の知的財産の保護及び他社の知的財産の利用の確保
- ・退職給付に係る負債の算定における見積り

HITACHI
Inspire the Next 